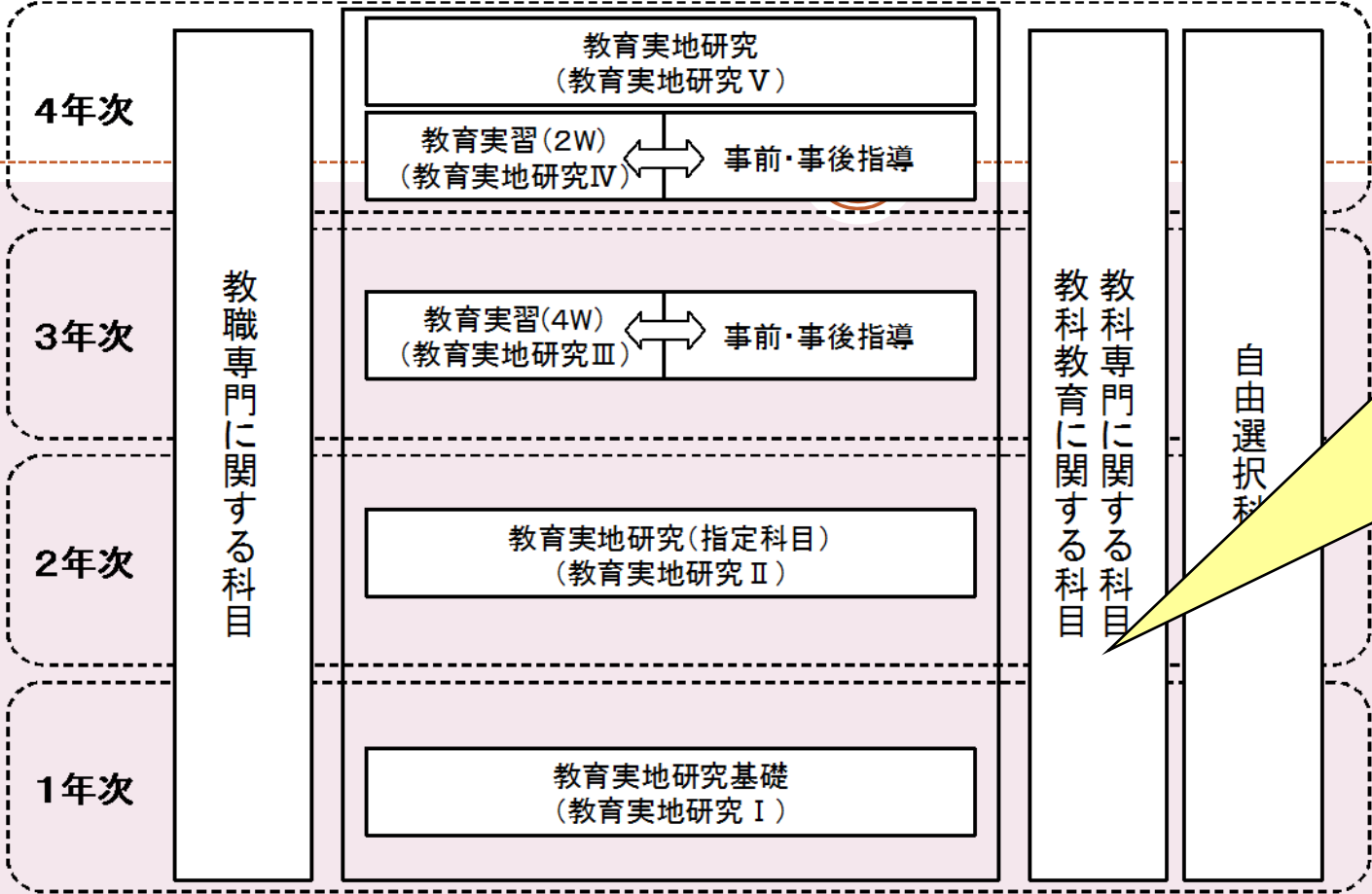




# 音楽コース専門のPBLについて考える

根津 知佳子



音楽療法  
概説

音楽療法  
演習

# シラバス(音楽療法概説)

- 授業形態 講義,演習,実習

- 授業の目的・概要



音楽の持つ「生理的・社会的・心理的作用」について学び、教育の隣接関連領域(医学・福祉・心理など)でどのような活動が展開できるかを学ぶ。

- 学生の到達目標

様々な対象者と活動するための形態を考えることができる。  
その活動において、自分で考えて実践することができる。

- 受講要件音楽専修生は必修。他のコースの学生が受講する場合は、音楽の実技能力は問わない。

音楽療法の定義

音楽療法の歴史

音楽療法と音楽教育 1

音楽療法と音楽教育 2

wellbeing



同質の原理

セッションの構造 1

セッションの構造 2

個人セッション目標

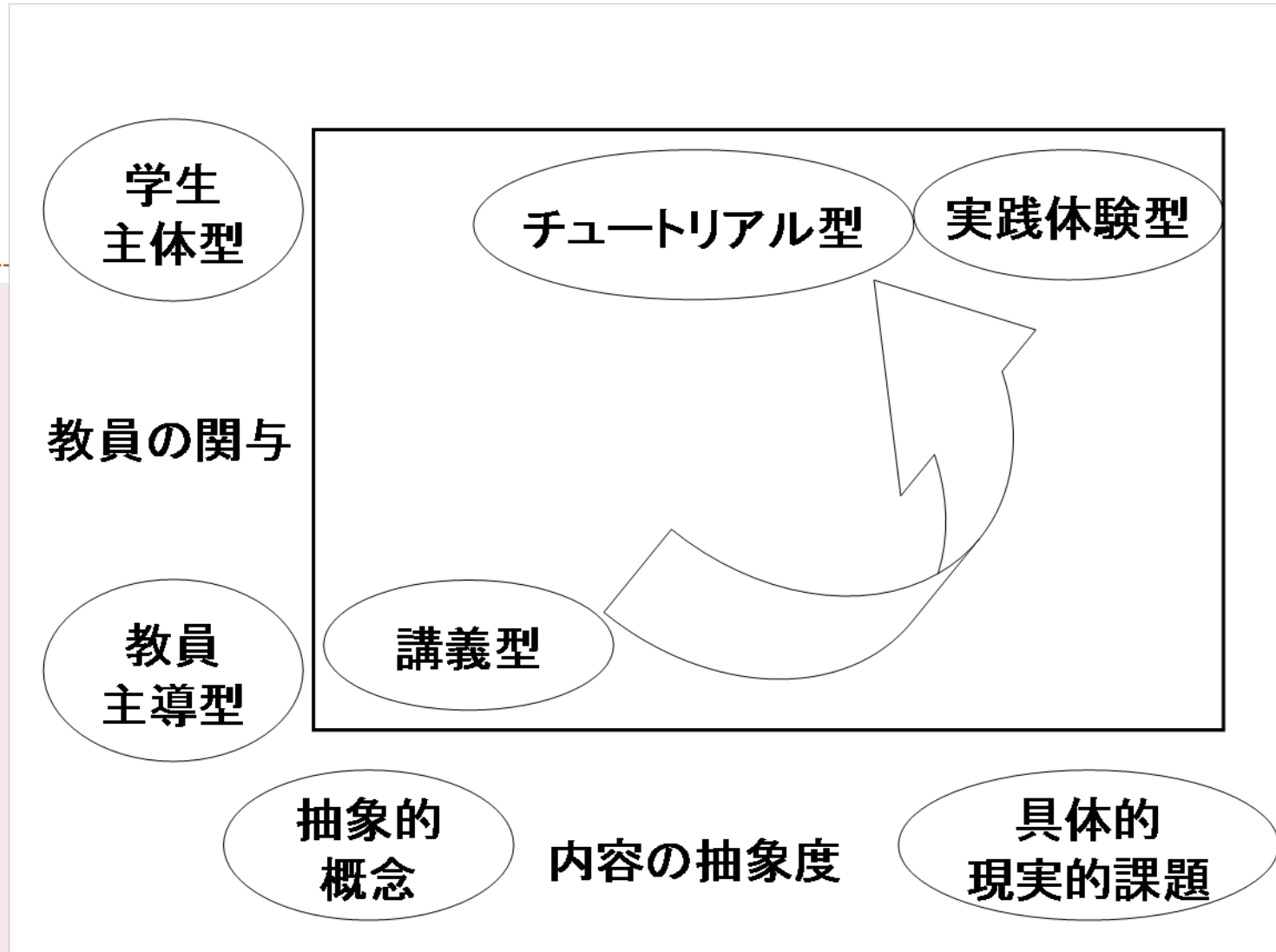
個人セッションの方法と評価

グループセッションの目標

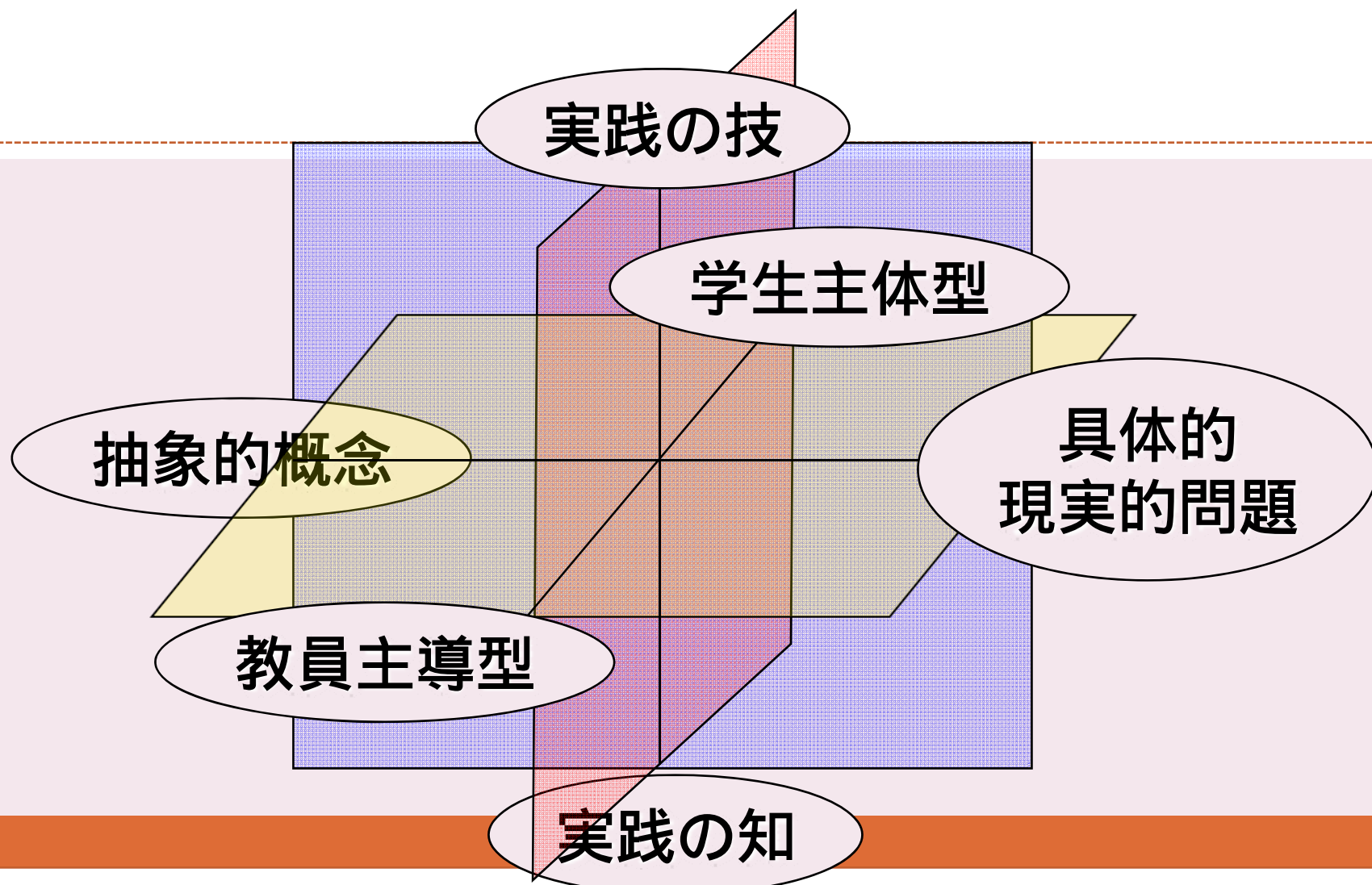
芸術プログラムでの実践 1

芸術プログラムでの実践 2

# PBL教育の形態



# PBLの形態(仮)



# New York University Steinhardt School of Culture , Education , and Human Development

Nordoff Robbins Center



Creative Music Therapy  
相互反応性

interresponsiveness

即興性

NY





# 音楽療法の定義



- 音楽の持つ生理的、心理的、社会的働きを用いて、
  - 心身の障害の回復
  - 機能の維持改善
  - 生活の質の向上
  - 行動の変容に向けて
- 音楽を意図的、計画的に使用すること。  
(日本音楽療法学会)

# 音楽療法の定義



- クライエントのウェル・ビーイングを  
改善  
維持  
回復させるために  
音楽的経験が使用される相互人間関係的  
プロセスである。

( K . E . Bruscia , 1986 )

# スーパーバイズの目的



- 音楽的経験の順序性・系統性
- PBLとしての展開の方法

# インターフェースの場



創造されたもの

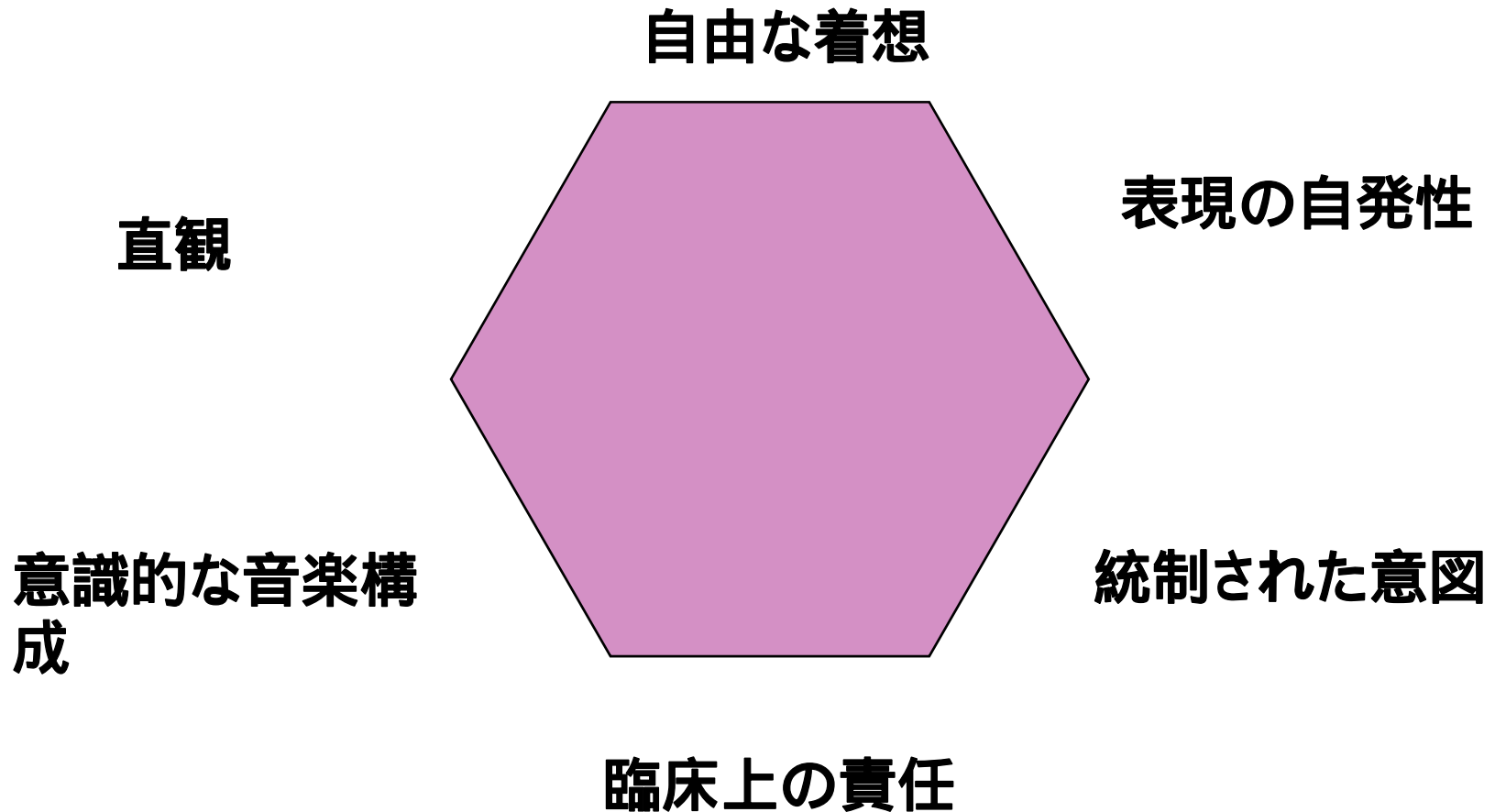
認識された  
予知できる

今

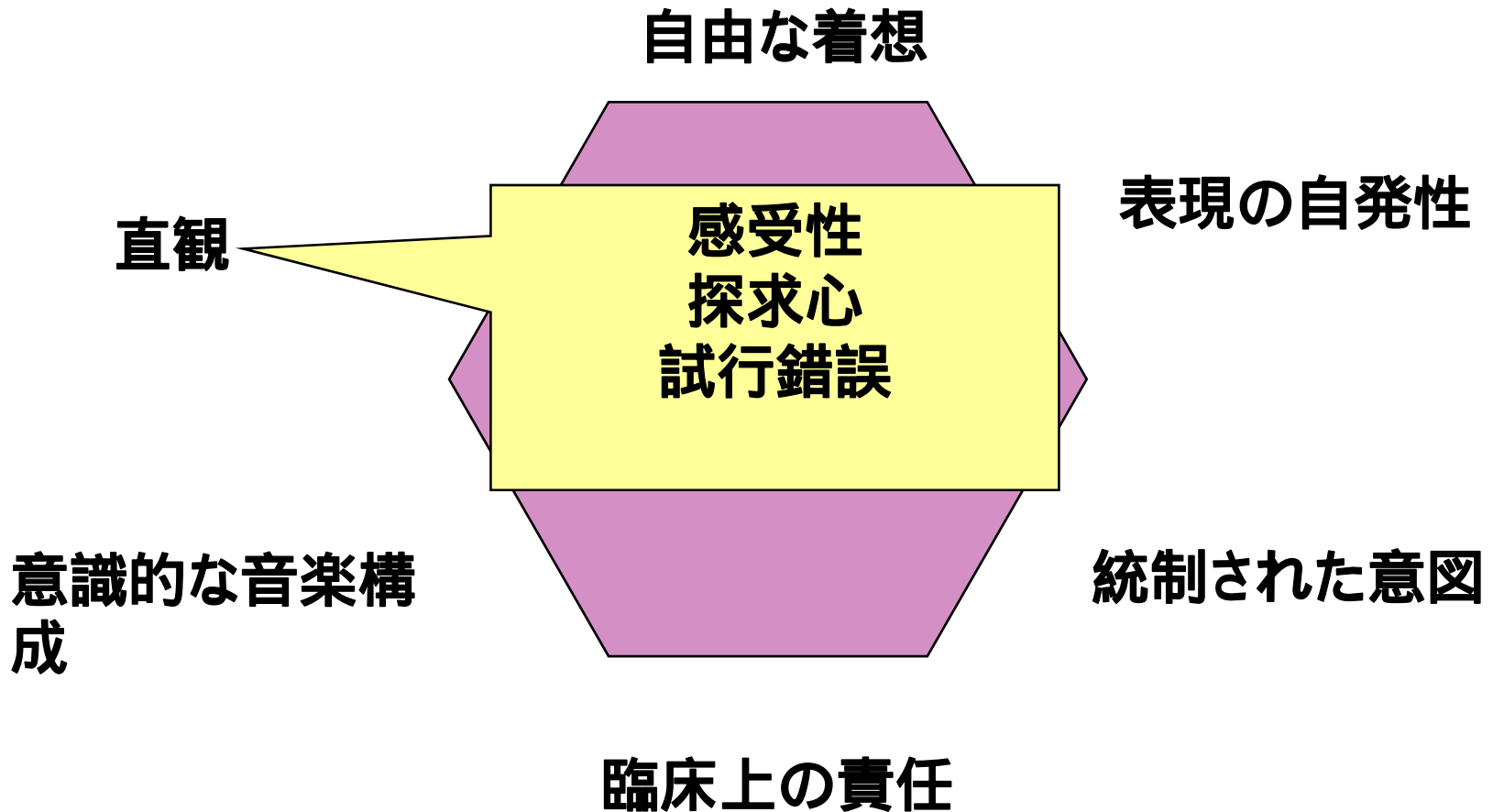
創造的なもの

可能性  
予知できない

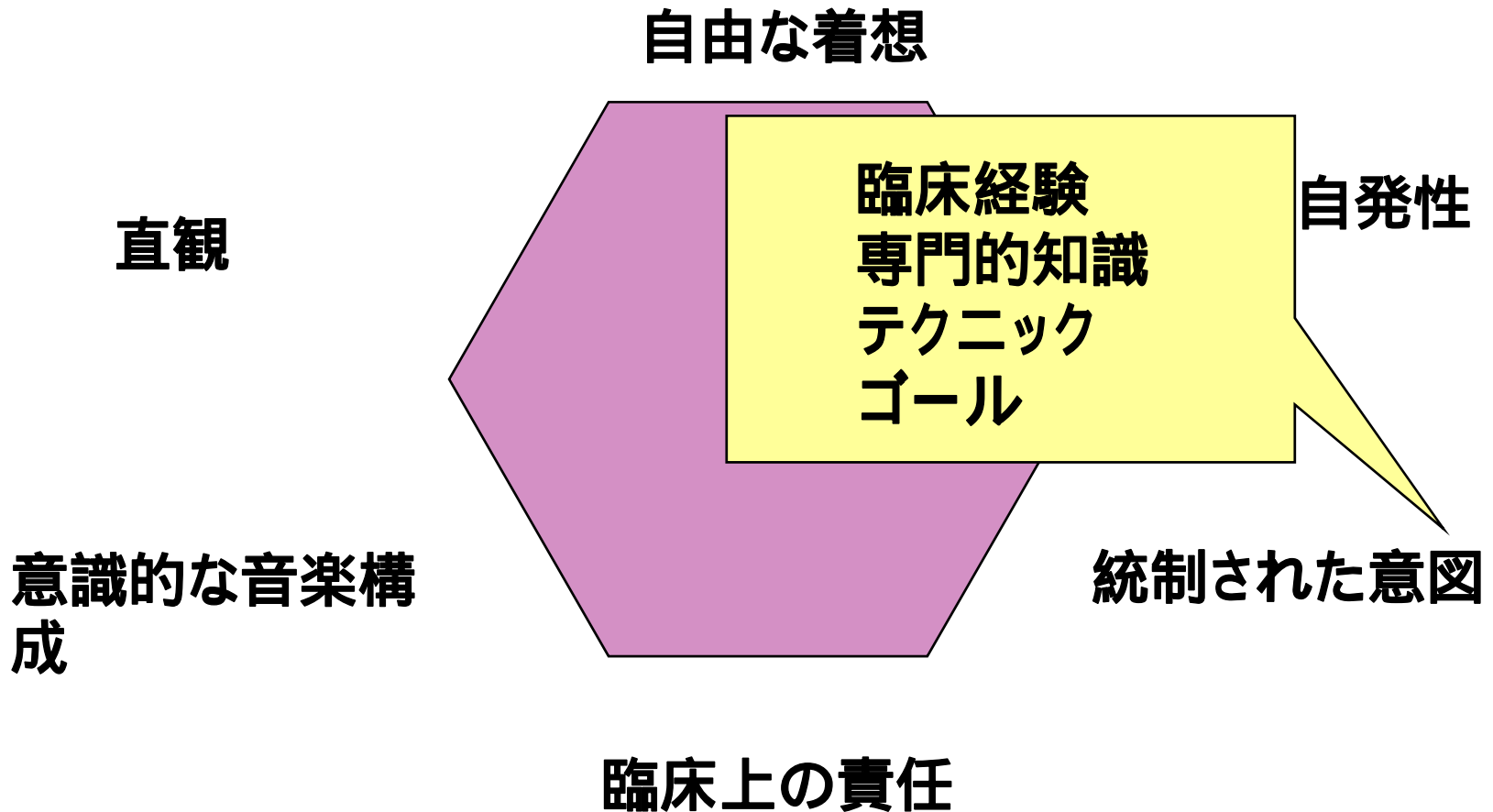
# 臨床的な音楽的手腕



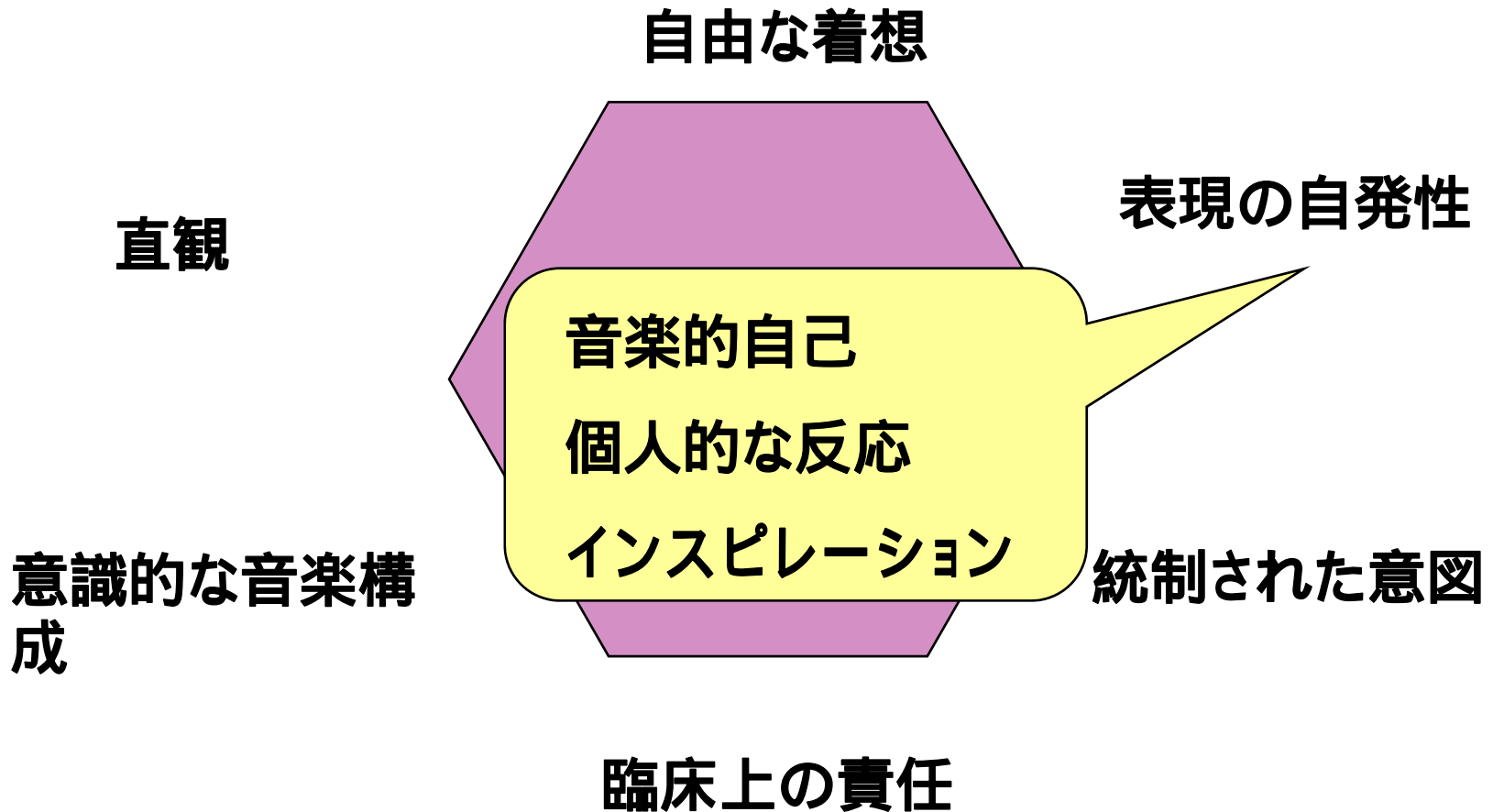
# 臨床的な音楽的手腕



# 臨床的な音楽的手腕

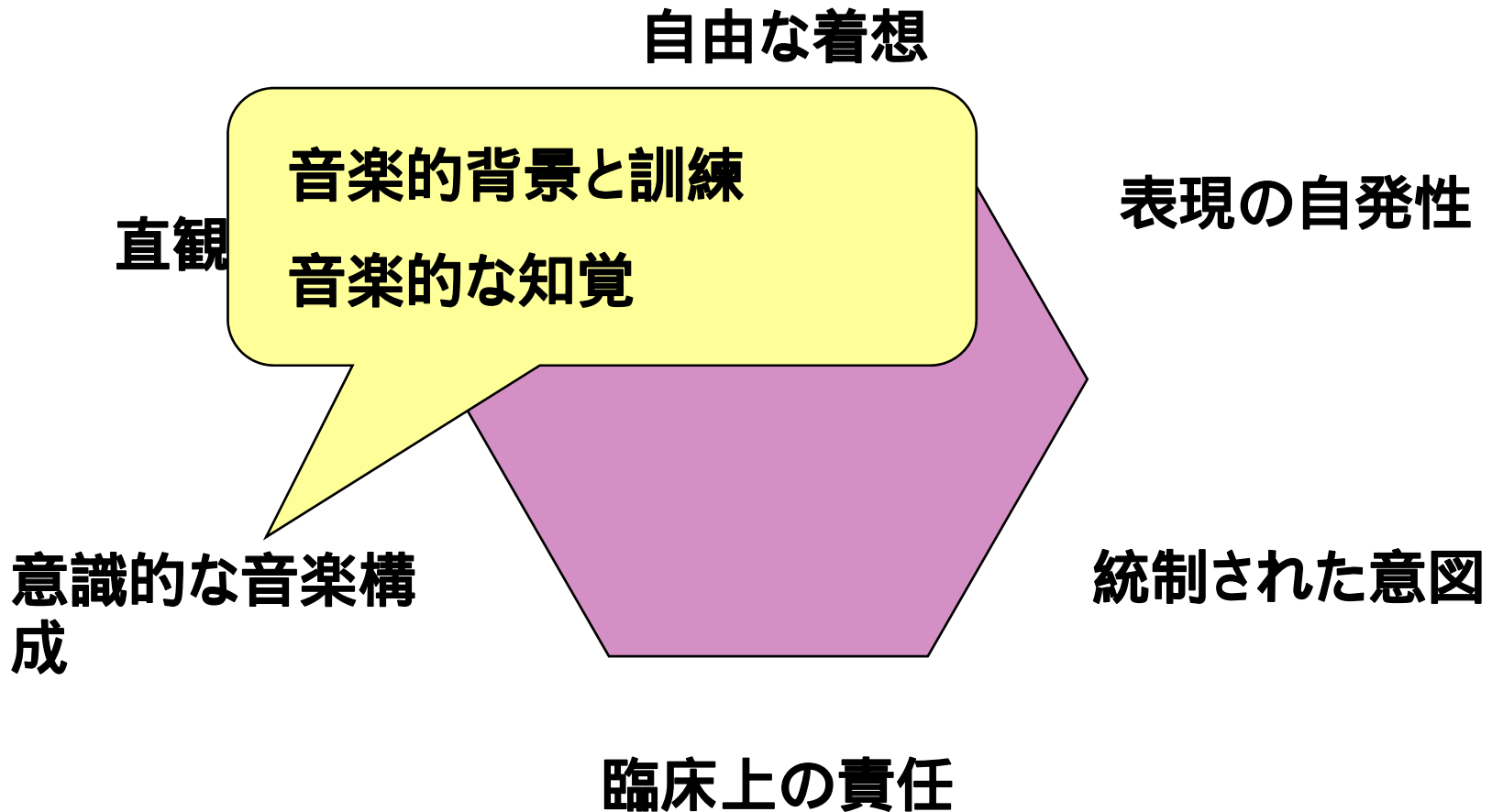


# 臨床的な音楽的手腕

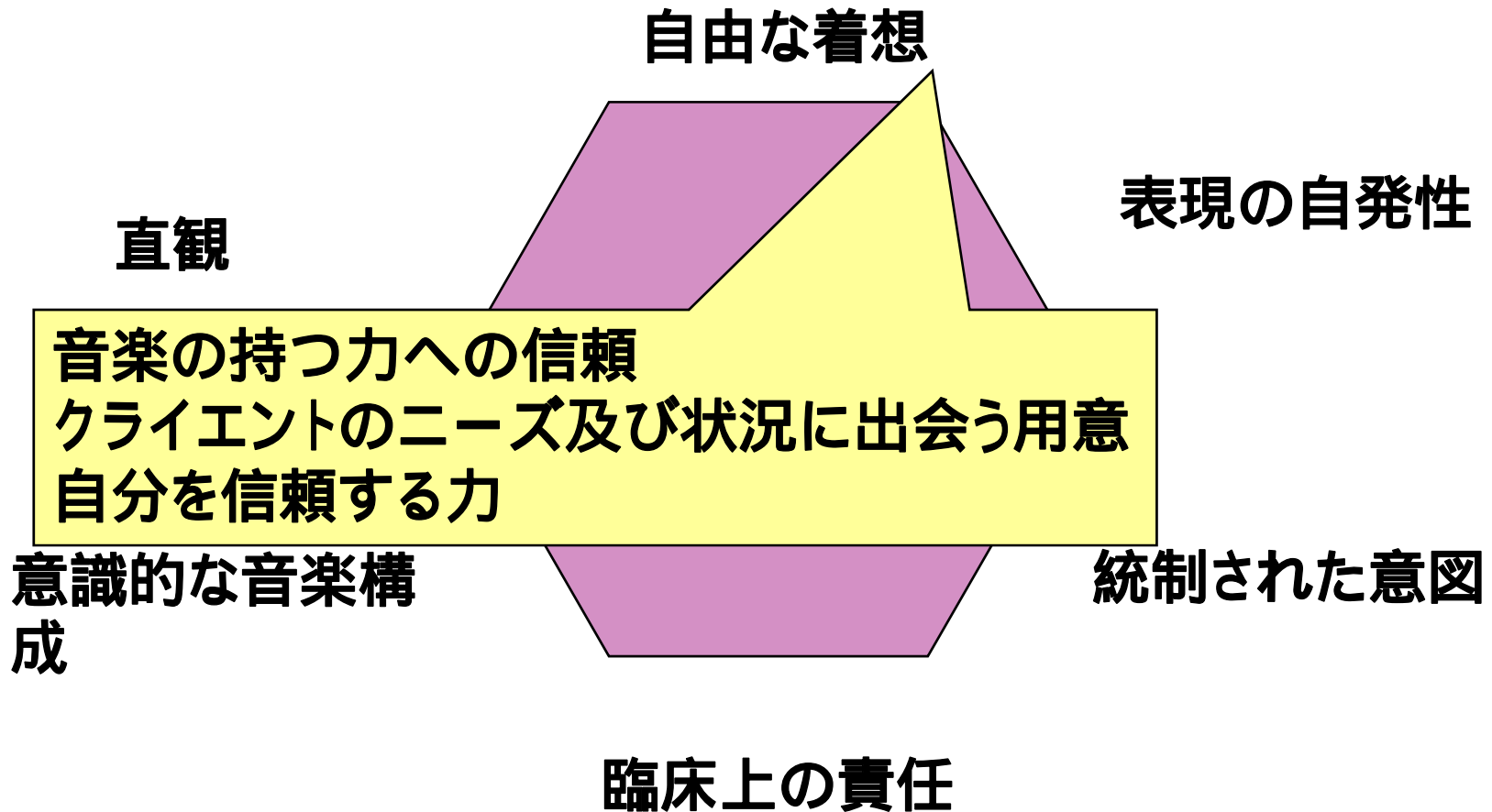




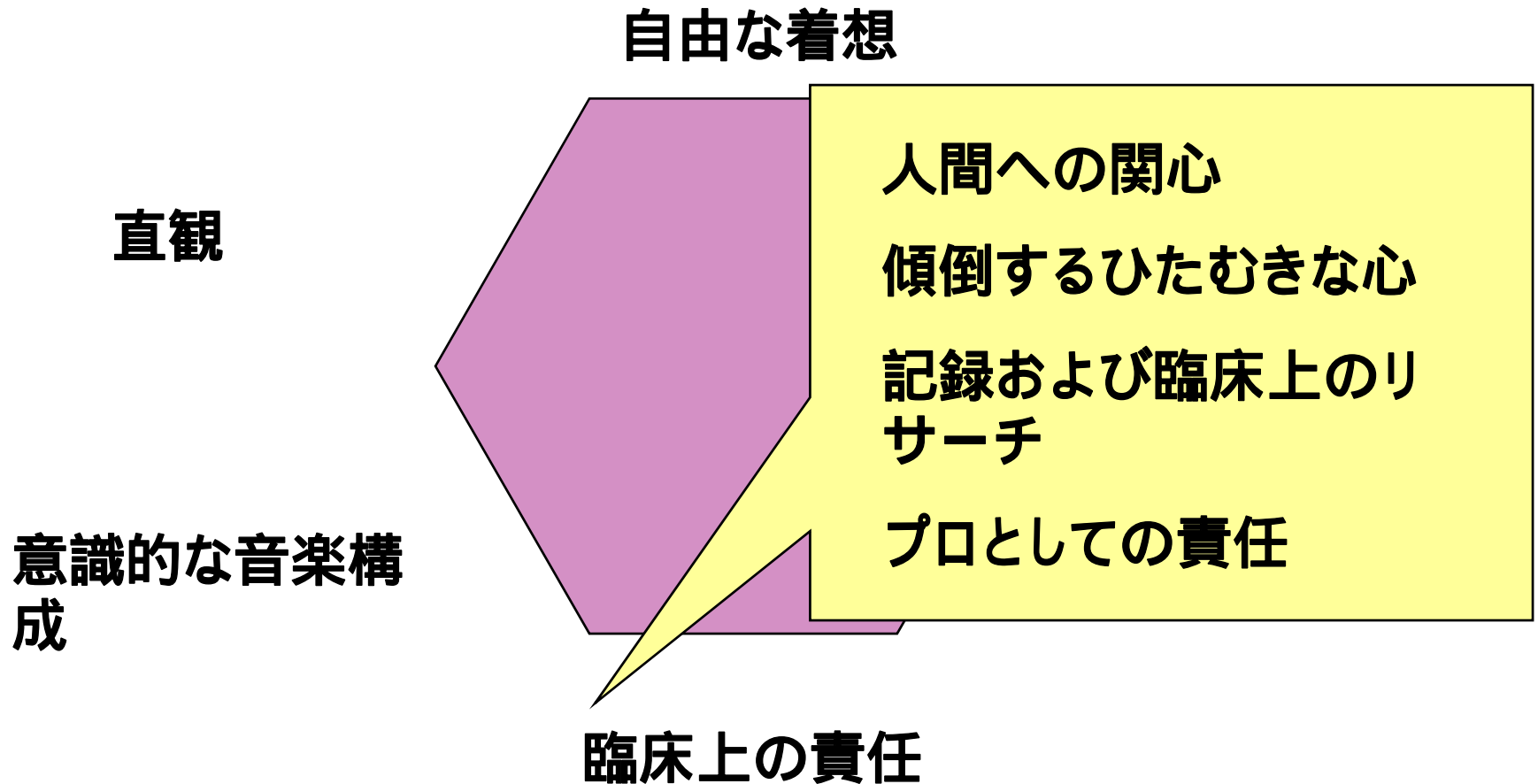
# 臨床的な音楽的手腕



# 臨床的な音楽的手腕



# 臨床的な音楽的手腕



## 二つの“のぞむ力”(根津、2005)

### 望む力

対象者のライフヒストリーにける発達課題や家族地域の問題などを考慮しながら活動を遂行する力

### 臨む力

理論に基づく瞬間的な判断力であり即興的に行動する力

# 2007年度 授業から

- V T R (事例)
  - プレゼンテーション (音楽的自己)
  - ロールプレイ
  - プロジェクト型実践
- 
- 編曲
  - 創作